

「誰も取り残さない」決意

大館市 社会福祉大会 功績者ら表彰、宣言採択

第41回大館市社会福祉大会が16日、ほくしか鹿鳴ホールで開かれた。功績者を表彰したほか、「困難を抱えても社会から孤立せず、安心して豊かな人生を送ることができ、市の実現を目指す」と大会宣言を採択した。

市社会福祉協議会（宮原文彌会長）主催。新型コロナウイルスの影響で規模縮小して

いたため、4年ぶりの通常開催となった。

「地域がつながり支え合っている。誰もが安心して生活できる福祉の町づくりの推進」をスローガンに約200人が出席した。

表彰状は12個人6団体、感謝状は5個人2団体に贈呈。表彰者を代表し、福祉員の三ツ倉昭夫さん（釈迦内）が「住

民一人一人の生活課題は多様化している。これからも地域福祉の充実に向けて活動を続けていく」と謝辞を述べた。

兜森和夫副会長は「社会的孤立や経済的格差の拡大、生活困窮など複合的な課題を抱え、支援を必要とする人が増えている。他分野との連携で支え合いの地域づくりを推進し、誰一人取り残さない共生社会の実現を目指す」とあいさつした。

式典後、日本福祉大中央福祉専門学校専任教員の渡辺哲雄さんが「認知症になった波平さんくわたりやすい成年後見制度」と題して講演した。被表彰者は次の通り。

◇市社会福祉協議会長表彰

▽民生委員児童委員（在任12年以上）Ⅱ 工藤松子、佐藤博昭▽福祉員（10年以上）Ⅱ

鳥瀧清一▽民間各種福祉施設から推薦された個人・団体Ⅱ 小笠原仁、川田利子、高坂力三子、渡邊みき子、サロン山

表彰を受ける福祉員の三ツ倉さん⑥（ほくしか鹿鳴ホール）

内、田中ブロック建設、大館国際情報学院高硬式野球部、秋田職業能力開発短大、白沢通園センター、泉町地域ふくしセンター

◇同協議会長感謝状 ▽協議会に10万円以上の金品を寄贈した個人・団体Ⅱ 土門公子、工藤栄子、工藤陸奥、佐藤義人、あきぎん一日会▽物品を寄贈した個人・団体Ⅱ 金田司、秋田比内食品